

# 本書の構成と特色

本書は、高校入試に必要とされる社会の用語を厳選し、分野別に分類・構成した教材です。

高校入試で重要な用語を厳選していますので、入試までの総まとめとして最適です。すべて穴埋め形式の問題となっています。空欄の用語だけでなく、太字の用語も覚えましょう。すべての空欄に用語をあてはめられるようになるまで、何度もくり返し学習しましょう。本書を有効に活用し、志望校合格に役立ててください。

## 目 次

### 地理

1	世界の姿と世界各地の生活	2
2	世界の諸地域	7
3	日本の姿と世界から見た日本	15
4	日本の諸地域と身近な地域の調査	23
5	よく出る資料	31

### 歴史

1	旧石器時代～平安時代	38
2	鎌倉時代～江戸時代前期(鎖国まで)	45
3	江戸時代中期～明治時代	51
4	大正時代～平成	57
5	よく出る資料	62

### 公民

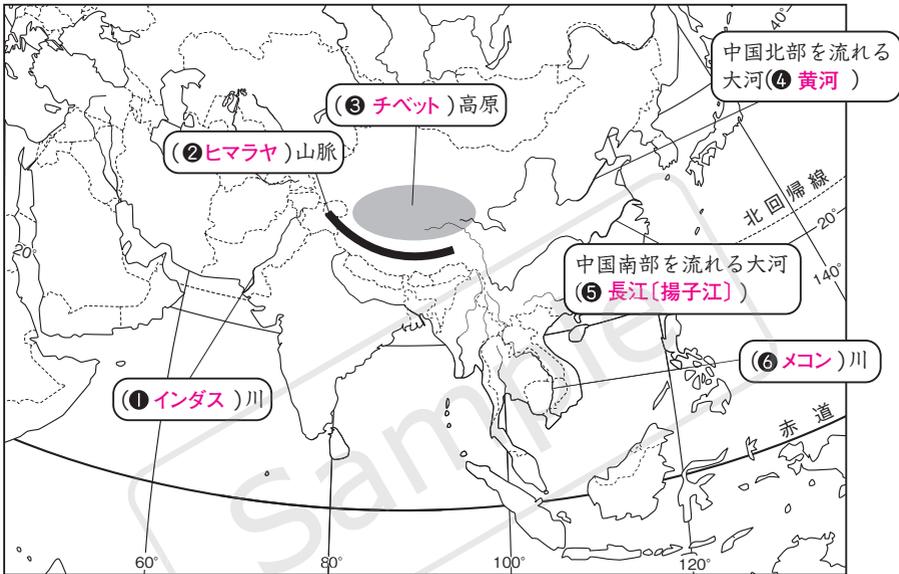
1	現代社会と憲法・人権	66
2	政治のしくみ	69
3	経済のしくみ	75
4	国際社会	81
5	よく出る資料	83

## 2 世界の諸地域

次の空欄にあてはまる語を答えなさい。

### 1 アジア州

#### A アジアの自然と人口

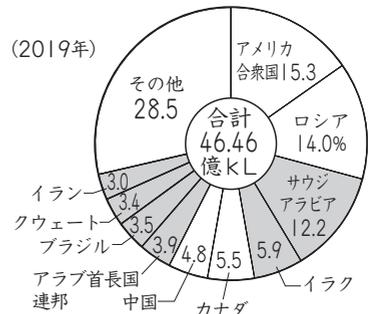


- (1) 東アジアの多くの気候は、( **温** )帯で、東南アジアから南アジアにかけては( **熱** )帯が広がるが、大陸北部のシベリアでは寒帯や冷〔亜寒〕帯、内陸部は( **乾燥** )帯、中央の高地では高山気候である。
- (2) ( **季節風**〔**モンスーン**〕)の影響で、海岸に近いアジア東部では、四季が明確であり、インドシナ半島やインドなどでは雨季と乾季がある。
- (3) 約14億人の人口をかかえる中国では、人口増加をおさえるため、2015年まで( **一人っ子政策** )を実施してきた。
- (4) 中国の人口の9割以上は( **漢族** )という民族が占めている。
- (5) ( **インド** )は世界で2番目に人口が多く、将来、人口が世界一になると予測されている。

## 2 世界の諸地域

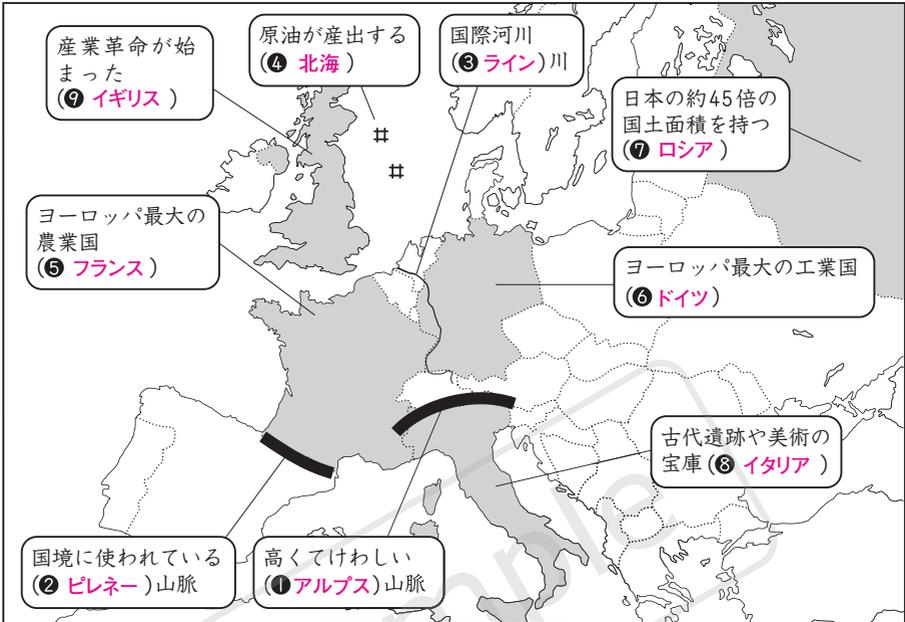
### B アジアの産業・生活

- (1) 1970年代以降、工業化が進んで急成長した、韓国・台湾・ホンコン・シンガポールをまとめてアジア( **NIES** ) [新興工業経済地域] とよぶ。
- (2) タイ・マレーシア・インドネシアなど、東南アジアの10か国は経済発展と相互援助を目的に( **ASEAN** [東南アジア諸国連合] ) を結成している。
- (3) 中国では、シェンチェンやアモイなどの沿岸部に外国企業が進出しやすい条件を整えた( **経済特区** [経済特別区] ) を設置して、工業化を進めている。
- (4) 世界各地で活躍している中国系の人々を( **華人** ) とよぶ。
- (5) 1990年代以降、経済の自由化が進んだインドでは、ベンガルールで( **情報通信技術** [ICT] ) 産業が発展し、自動車産業なども成長している。
- (6) 西アジアで石油[原油]を産出する国々は、**OPEC** ( **石油輸出国機構** ) に加盟し、共同で生産量や価格の調整などを行っている。
- (7) 東南アジアの降水量の多い地域では、稲作がさかんで、年に2回米をつくる( **二期作** ) も行われている。
- (8) 東南アジアでは、植民地時代につくられた( **プランテーション** ) とよばれる大規模な農園で天然ゴムやコーヒーなどが栽培されているが、大規模な開発による( **熱帯雨林** ) の減少が問題になっている。
- (9) マングローブが広がる海岸で養殖される( **エビ** ) やフィリピンの農園でつくられる( **バナナ** ) などは、日本へさかんに輸出されている。
- (10) 急速に人口が増加した東南アジアの都市では、設備の不十分な住宅や交通渋滞などの( **都市問題** ) が発生しているが、ショッピングセンターがつくられたり、郊外に住宅団地が建設されたりして都市圏が広がっている。
- (11) 西アジアでは多くの人々が( **アラビア** ) 語を話し、ほとんどが( **イスラム** ) 教の信者である。
- (12) 右のグラフは西アジアで多く産出される( **原油** [石油] ) の生産量を表している。
- (13) 中央アジアにはアジアの東西を結ぶ( **シルクロード** [絹の道] ) の歴史的遺産が多く、**8**観光客も増えている。



(2020/21年版「世界国勢図会」)

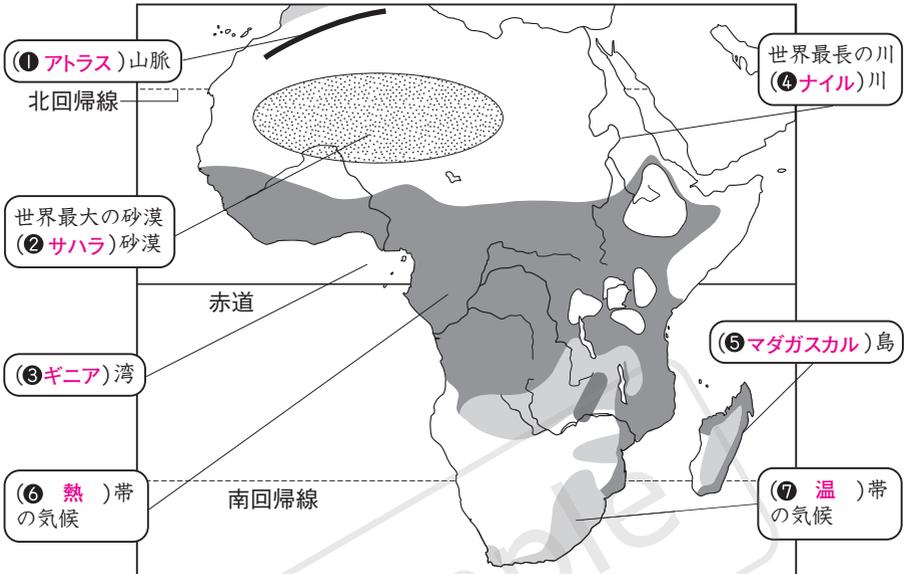
## ② ヨーロッパ州



- (1) ヨーロッパの多くの国は、日本より高緯度に位置しているが、暖流の ( 北大西洋海流 ) とその上を吹く ( 偏西風 ) の影響で比較的温暖である。
- (2) ヨーロッパの北西部では ( ゲルマン ) 系言語、南部では ( ラテン ) 系言語、東部では ( スラブ ) 系言語がおもに話されている。
- (3) ヨーロッパ北西部や東部では、小麦などの栽培と牧畜を組み合わせた ( 混合 ) 農業がさかんである。
- (4) 地中海沿岸では、夏は乾燥に強いオレンジや ( オリーブ )、ぶどうなどを栽培し、冬は降水を利用して小麦を栽培している。
- (5) ヨーロッパの国々は、( ヨーロッパ連合 [EU] ) という地域統合組織をつくり、政治・経済上の協力を進めている。
- (6) (5)の国々では ( ユーロ [EURO] ) という共通通貨が導入されている。
- (7) ごみのリサイクルや再生可能エネルギーの活用など、( 持続可能 ) な社会を実現するための取り組みが積極的に行われている。
- (8) ⑦のシベリアでは、( タイガ ) とよばれる針葉樹林の森林が広がる。

## 2 世界の諸地域

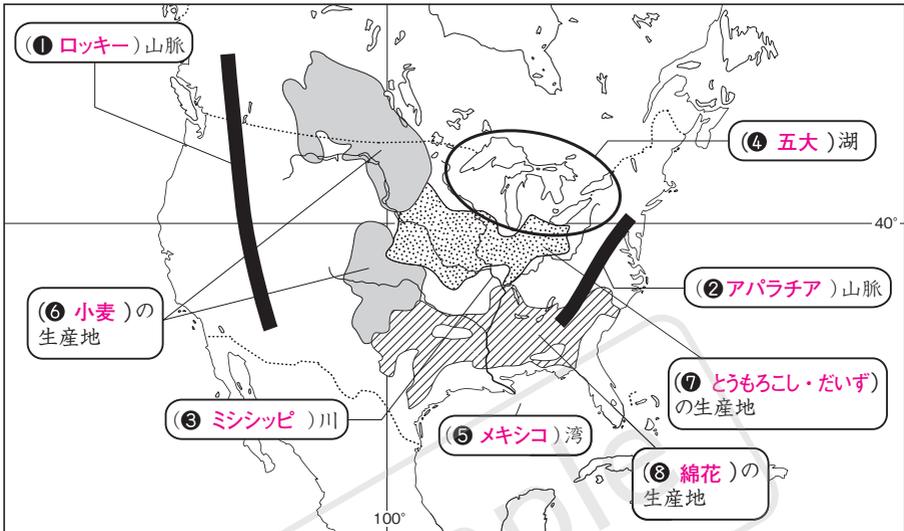
### 3 アフリカ州



- (1) アフリカの赤道付近には( 熱帯雨 )林が広がり、赤道からややはなれた所には( サバナ )の草原、その外側にはたけの短い草原が広がる( ステップ )と砂漠が見られる。
- (2) ②の砂漠の南側にあり、少量の雨が降り、樹木や草が少しだけ生えている( サヘル )では、砂漠化が急速に進行している。
- (3) 中央アフリカや南アフリカでは、英語やフランス語など、植民地時代の旧宗主国の言語を( 公用語 )にしている国が多い。
- (4) 北アフリカでは( アラビア語 )が話され、( イスラム教 )の信者が多い。
- (5) プランテーションで、カカオや天然ゴム・油やし・コーヒー・らっかせい・綿花などが( 商品作物 )として栽培されている。
- (6) アフリカには、限られた(5)や鉱産資源の生産・輸出にたよる( モノカルチャー )経済の国が多く、経済の不安定さが問題になっている。
- (7) EU をモデルにアフリカ諸国の地域統合をめざす( アフリカ連合(AU) )が2002年に発足し、アフリカ諸国のさまざまな課題に協力して取り組んでいる。

## 4 北アメリカ州

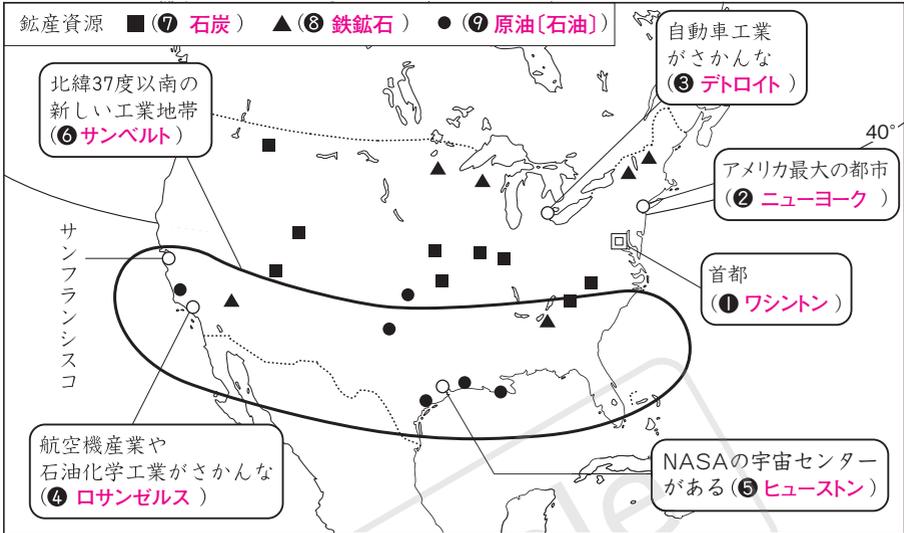
## A 自然と農業



- (1) 北アメリカの北緯 40 度以北は、冷帯・( 寒帯 )の気候で、北緯 40 度以南は西経 100 度付近を境に、東側は( 温帯 )、西側は( 乾燥帯 )で砂漠も見られる。
- (2) 西部の①と東部の②の山脈の間には、西から順に(グレートプレーンズ)・(プレーリー)・中央平原という広大な草原が広がっている。
- (3) 西経 100 度より西側は、降水量が少ないため、牧草地として利用され、肉牛の( 放牧 )がさかんである。
- (4) 世界有数の農産物の生産国で、とうもろこし・だいず・小麦などの世界最大の輸出国であるアメリカ合衆国は「( 世界の食料庫 )」とよばれている。
- (5) アメリカ合衆国では、大型機械を使って、その土地の気候・土壤に合った作物を大量に栽培する( 適地適作 )の農業が行われている。
- (6) アメリカ合衆国の農業では、少ない労働力で広い面積を経営するため、農業の( 機械 )化やコンピュータでの生産管理を進める( 企業 )的な農業が主流になっている。

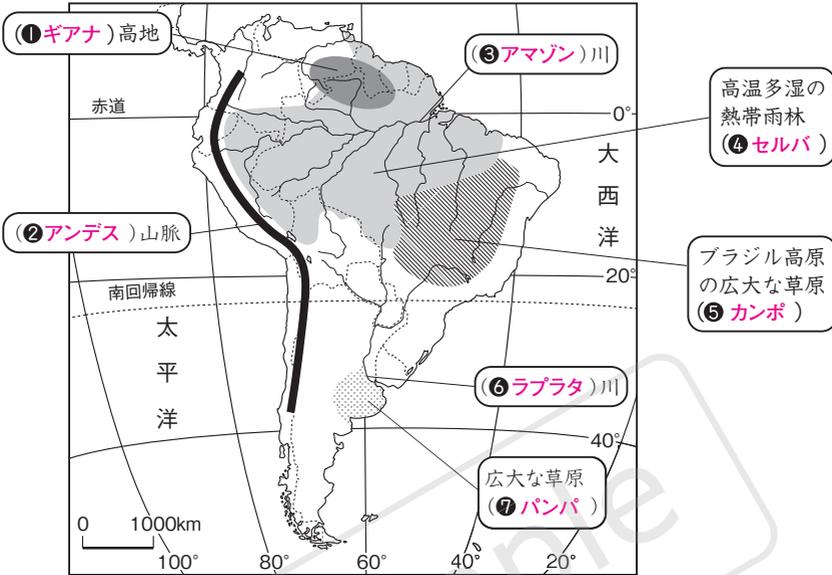
## 2 世界の諸地域

### B 鉱工業と文化



- (1) 近年、アメリカ合衆国では、エレクトロニクス・航空宇宙・コンピュータなどの(ハイテク(先端技術))産業が発達している。
- (2) アメリカ合衆国には、世界各地に工場や子会社をつくり、国境をこえて経済活動を行う(多国籍)企業が多く見られる。
- (3) カリフォルニア州の(シリコンバレー)とよばれる電子産業がさかんな地域には、研究・開発に関連する会社が集まっている。
- (4) カナダでは、豊富な森林資源を利用した(製紙)工業や、五大湖沿岸での自動車工業などが発達している。
- (5) アメリカ合衆国・カナダ・(メキシコ)は協定を結んで、貿易にかかる税金をなくし、貿易をさかんにするための経済的な結びつきを強めている。
- (6) 北アメリカ大陸の先住民を(ネイティブアメリカン)といい、近年、人口が増えているスペイン語を話す人々を(ヒスパニック)という。
- (7) アメリカでは英語、カナダでは英語と(フランス)語、メキシコでは(スペイン)語が多く話されている。
- (8) 大型商業施設である(ショッピングセンター)、ファストフード、ジャズなど、アメリカで生まれた文化は世界に広まり、親しまれている。

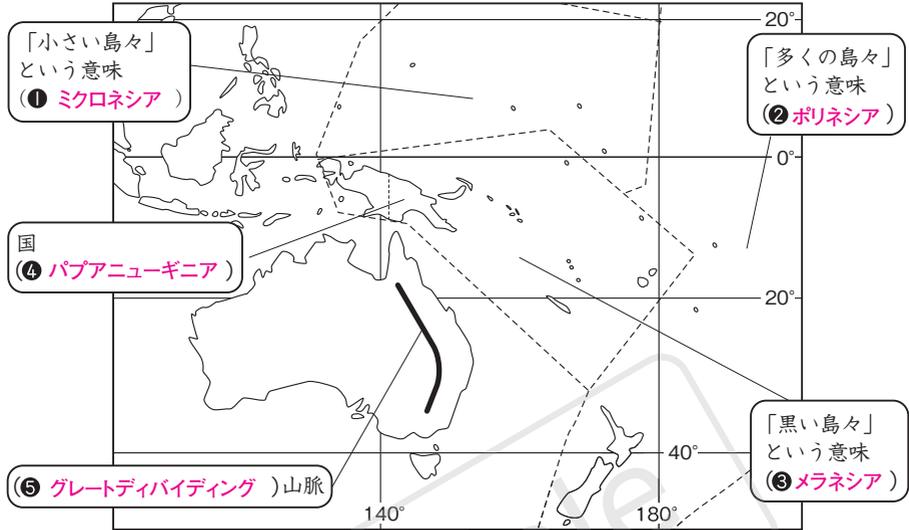
## 5 南アメリカ州



- 南アメリカ大陸では、熱帯から寒帯までのさまざまな気候が見られるが、チリ北部の太平洋岸やアルゼンチン南部は( **乾燥** )帯の気候である。
- 15～16世紀にアンデス地帯で栄えた( **インカ** )帝国は、( **スペイン** )人にほろぼされた。
- 南アメリカ大陸の先住民を( **インディオ** )というが、最近では先住民と白人の間での混血が進み、( **メスチソ** )とよばれる混血者が増えている。
- ブラジルでは、さとうきびを原料とする、石油に代わる新しいエネルギー源として注目されている( **バイオ燃料[バイオエタノール]** )の生産が拡大している。
- ④の熱帯雨林では、木を焼きはらって畑をつくり、焼いてできた灰を肥料にする( **焼畑** )農業が、先住民によって行われている。
- 南アメリカ大陸は、世界有数の生産量のブラジルの( **鉄鉱石** )、世界一の生産量のチリの( **銅** )など、豊富な地下資源にめぐまれている。
- 近年、工業化が進んで経済が発展している、ブラジル・ロシア・インド・中国・南アフリカ共和国をまとめて、( **BRICS** )とよぶ。

## 2 世界の諸地域

### 6 オセアニア州



- (1) オーストラリアの北部は( 熱帯 )の気候だが、南東部や南西部は( 温帯 )の気候で人口も集中している。
- (2) オーストラリアは、草原や砂漠が大陸全体の約3分の2を占めることから「( 乾燥大陸 )」とよばれる。
- (3) 太平洋の島々は、火山島と( さんご )礁の島々からなる。
- (4) オーストラリアの先住民を( アボリジニ )、ニュージーランドの先住民を( マオリ )とよぶ。
- (5) ニュージーランドでは( 羊 )の飼育がさかんで、人口の6倍以上の頭数を飼育している。
- (6) かつての貿易相手国は、イギリスなど欧米諸国が中心であったが、近年では日本や( 中国 )などのアジア諸国との貿易が多くなっている。
- (7) オーストラリアの東部には( 石炭 )、北西部には( 鉄鉱石 )などの鉱産資源があり、地面を直接けずる( 露天掘り )で採掘されている。
- (8) かつて、オーストラリアでは、白人以外の移民を制限する( 白豪主義 )政策が取られていたが、現在では多文化社会への取り組みが進められている。

## 出題範囲表

回次	出題内容
第1回	世界の姿と世界各地の生活(P.2～6) 地球の姿／世界の国々／世界各地の自然／世界各地の生活・文化
第2回	世界の諸地域(P.7～14) アジア州／ヨーロッパ州／アフリカ州／北アメリカ州／南アメリカ州／オセアニア州
第3回	旧石器時代～平安時代(P.38～44) 政治・経済・社会の動き／人物／外交の動き／文化
第4回	鎌倉時代～江戸時代前期(P.45～50) 政治・経済・社会の動き／人物／外交の動き／文化
第5回	日本の姿と世界から見た日本(P.15～22) 日本の姿／世界から見た日本の自然環境／世界から見た日本の人口／世界から見た日本の資源・エネルギーと産業／世界と日本の結びつき
第6回	本の諸地域と身近な地域の調査(P.23～30) 九州地方／中国・四国地方／近畿地方／中部地方／関東地方／東北地方／北海道地方／身近な地域の調査
第7回	江戸時代中期～明治時代(P.51～56) 政治・経済・社会の動き／人物／外交の動き／文化
第8回	大正時代～平成(P.57～61) 政治・経済・社会の動き／人物／外交の動き／文化
第9回	現代社会と憲法・人権，政治のしくみ(P.70～78) 現代社会の特色／人権思想の発達と日本国憲法／基本的人権／国会／内閣／裁判所／三権分立／選挙と政党／地方自治
第10回	経済のしくみ，国際社会(P.79～85) 消費生活／流通と価格／生産のしくみ／金融と財政／日本経済の歩み／労働と社会保障制度／国際社会／国際協力
第11回	地理のまとめ(P.2～37) 地理全範囲
第12回	歴史のまとめ(P.38～69) 歴史全範囲
第13回	公民のまとめ(P.70～91) 公民全範囲
第14回	地理，憲法・政治のまとめ(P.2～37，P.70～78) 地理全範囲／現代社会と憲法・人権，政治のしくみ
第15回	歴史，経済・国際のまとめ(P.38～69，P.79～86) 歴史全範囲／経済のしくみ，国際社会
第16回	地理，歴史，公民のまとめ(P.2～91) 全範囲

① 次の空欄にあてはまる語を答えなさい。

- (1) 東アジアの多くの気候は( ① )帯で、東南アジアから南アジアにかけては( ② )帯が広がる。
- (2) ヨーロッパの多くの国は、日本より高緯度に位置しているが、暖流の( )とその上を吹く偏西風の影響で比較的温暖である。
- (3) オーストラリアの北部は( )帯の気候だが、南東部や南西部は温帯の気候で人口も集中している。

② 次の空欄にあてはまる語を答えなさい。

- (1) 中国の人口の約9割は( )という民族がしめている。
- (2) アメリカ合衆国で、近年、人口が増えているスペイン語を話す人々を( )という。
- (3) 南アメリカ大陸の先住民をインディオというが、最近では先住民と白人の間での混血が進み、( )とよばれる混血者が増えている。
- (4) かつて、オーストラリアでは、白人以外の移民を制限する( )政策が取られていたが、現在では多文化社会への取り組みが進められている。



5 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

世界の国々では、それぞれの地域のさまざまな条件に合わせた産業が発達している。なかでも農業は自然環境との関わりが大きく、a各地で特色のある農業が見られる。また、b工業は、その地域で産出する資源や製品の消費地などとの関連も大きいが、c歴史とも関係していて、d工業化が進んだ国がある一方で、e資源に恵まれていながらも経済発展が遅れている国もある。

(1) 下線部 a について、次の各文の空欄にあてはまる語を答えなさい。

- ① ヨーロッパ北西部や東部では、小麦などの栽培と牧畜を組み合わせた( )農業がさかんである。
- ② 地中海沿岸では、夏は乾燥に強いオレンジや( )、ぶどうなどを栽培し、冬は降水を利用して小麦を栽培している。
- ③ 世界最大の農産物の生産国で、とうもろこし・小麦・だいずなどの世界最大の輸出国であるアメリカ合衆国は「世界の( )」とよばれている。
- ④ アメリカ合衆国では、大型機械を使って、その土地の気候・土壌に合った作物を大量に栽培する( )の農業が行われている。

(2) 下線部 b について、次の各文の空欄にあてはまる語を答えなさい。

- ① 中国では、シェンチェンやアモイなどの沿岸部に外国企業が進出しやすい条件を整えた( )を設置して、工業化を進めている。
- ② ヨーロッパ最大の工業国は( )である。
- ③ アメリカ合衆国のカリフォルニア州には、( )とよばれる電子産業がさかんな地域があり、研究・開発に関連する企業が集まっている。

(3) 下線部 c について、18世紀に産業革命が始まり、世界の工業の中心地になった国はどこか、国名を答えなさい。

(4) 下線部 d について、近年、工業化が進んで経済が発展している、ブラジル・ロシア・インド・中国・南アフリカ共和国をまとめて何とよぶか、アルファベット5文字で答えなさい。

(5) 下線部 e について、右のグラフは何の産出量を示したグラフか、資源の名称を答えなさい。

